

よこはま こども植物園だより

No.174

〒232-0066 横浜市内南区六ツ川 3-122
TEL 045-741-1015 FAX 045-742-7604
開園 9:00-16:30 (第3月曜日は休園、祝日の場合は翌日)
<https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/kodomo/>



令和 6 年 6 月発行
発行部数 23,000 部
編集・発行
(公財)横浜緑の協会
横浜市こども植物園

多くの植物は、太陽が出ている時間帯に花を咲かせますが、なかには真っ暗な夜に花を咲かせる種類があります。特に夏は、夜咲く花を見ることのできる絶好の季節。みなさんも幻想的な花たちを見つけに夜の植物観察に出かけてみましょう。意外と身近な場所でみつけれられるかもしれません。

ユウスゲ

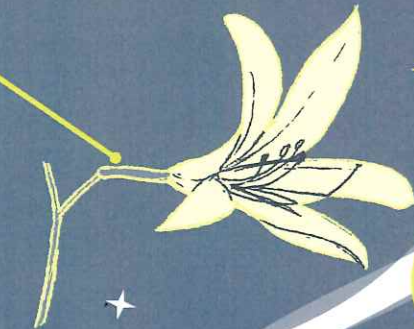
ワスレグサ科

Hemerocallis citrina
var. *vespertina*

山の草原や林縁に生えます。日が沈むころに花が開きます。同じ仲間には昼咲きのニッコウキスゲがあります。レモンイエローの花はどこかかなさを感じます。



山で...



郊外で...

~いざ! ナイトツアー~ 夜の植物観察

虫よけスプレー

懐中電灯

を持って出かけよう!

庭先や公園で...

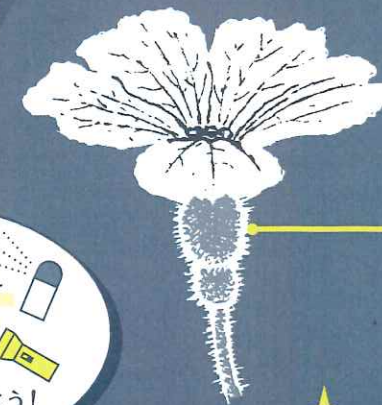


ヒョウタン

ウリ科ユウガオ

Lagenaria siceraria
var. *siceraria*

容器として利用するひょうたんはこの植物の果実を加工したものです。かんぴょうの原料となるユウガオは、ヒョウタンの変種。ヒョウタンの果実は苦くて食用には向きません。

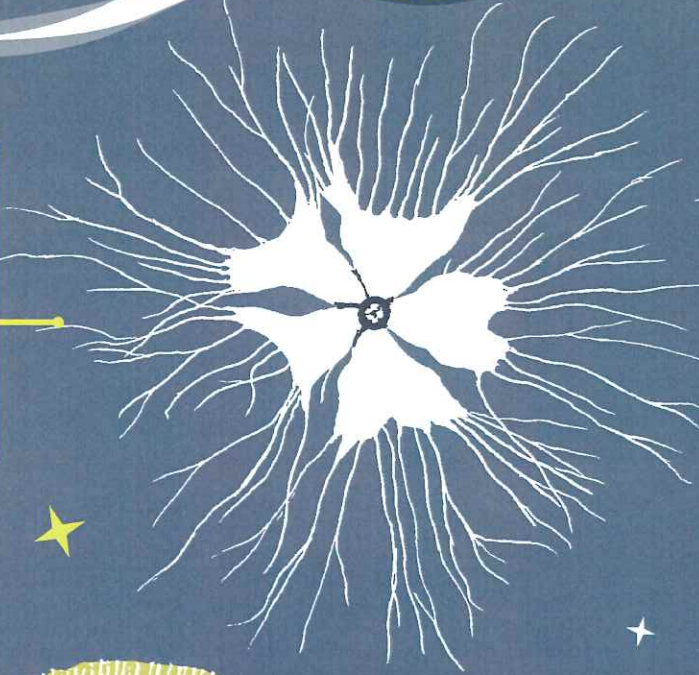


キカラスウリ

ウリ科

Trichosanthes kirilowii
var. *japonica*

カラスウリに似ていますが花はややクリーム色です。カラスウリが日の出前にしぼんでしまうのに対して、こちらは日が昇っても少しの間咲いています。果実は黄色。



カラスウリ

ウリ科

Trichosanthes cucumeroides

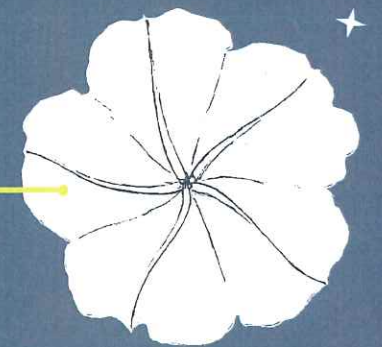
林縁や空き地のやぶなどで見られるつる植物。闇のなかに浮かび上がるレースのような花は芸術品のよう。花弁が細かいのは、表面積をかせいで、香りを遠くまで飛ばすためと考えられていて、花が開くのは日が沈んでから。雄株と雌株があり、雌株は秋に赤い果実を着けます。

ヨルガオ

サツマイモ科

Ipomoea alba

南アメリカ原産。夜に咲くことから同じ仲間のアサガオに対してこの名前がつけられました。直径10cm以上ある花は見ごたえがあります。

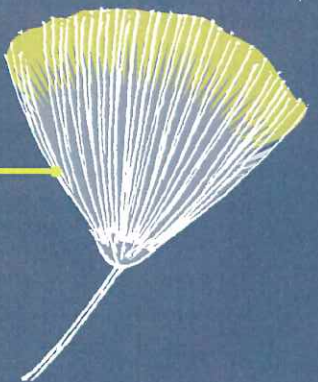


ネムノキ

マメ科

Albizia julibrissin

野山や郊外の空き地、河原などにはえます。蒸し暑くなったなと感じる頃、夕方になるとどこからともなく香りがするので、ネムノキが咲いていると気づくことがあります。夜葉を閉じるようすから眠りの木→ネムノキとなったとされています。

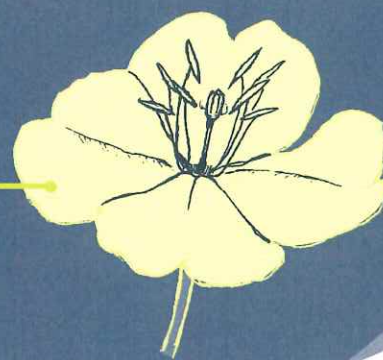


マツヨイグサの仲間

アカバナ科

Oenothera

空き地や河原などに生える北アメリカ原産の帰化植物。ライムイエローの花を咲かせます。この仲間では最も目にするのは、「メマツヨイグサ」と「コマツヨイグサ」。ほかに「マツヨイグサ」「オオマツヨイグサ」があります。ツクミソウとよばれることがありますが、「ツクミソウ」は、メキシコ原産で白い花を咲かせます。

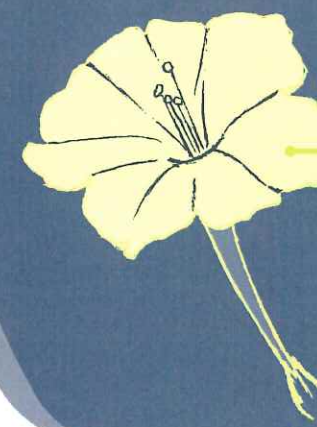


オシロイバナ

Mirabilis jalapa

オシロイバナ科

南アメリカ原産で、花壇に植えられますが、場所によっては帰化しています。種子のなかの白い粉を白粉に見立てた名前です。



なぜ、暗い夜に花を咲かせるの? 答えは裏面で

夜咲くのにはわけがある！夜咲き植物と昆虫の関係

理由は、競争相手が少ないから。
日中に咲く植物が圧倒的に多い中、夜に花を咲かせる植物は限られています。夜行動物（おもに昆虫）に花粉を運んでもらえば、日中に花を咲かせるよりも選んでもらう確率は高いわけです。ただ暗闇で花を咲かせるには、暗いが見つけてもらいにくいというデメリットもともないますから、それなりの努力が必要です。ではその努力と工夫とは…。

APPEAL 1 色でアピール

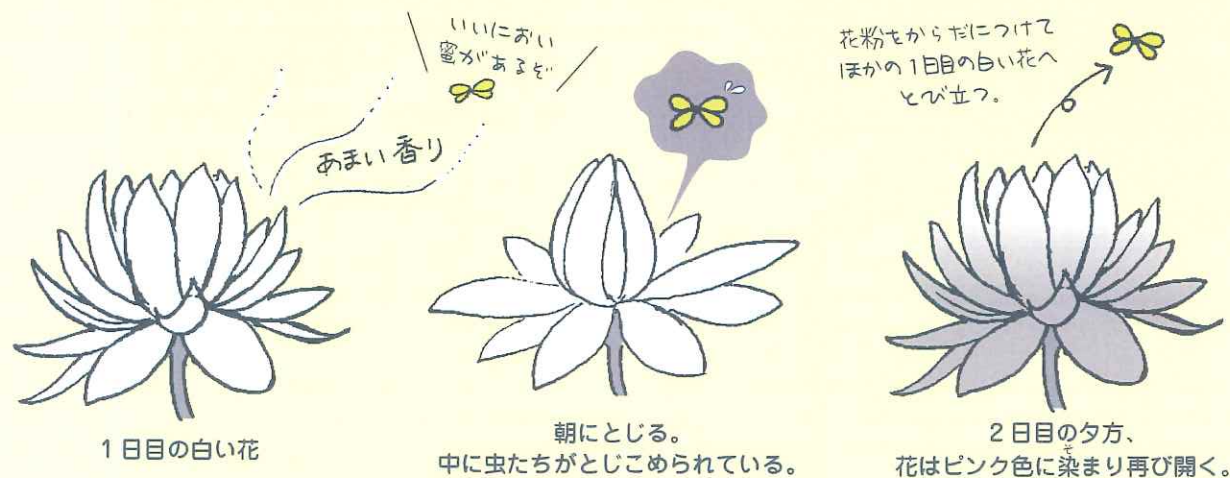
夜に咲く花は、白やライムイエローといった色が多いのですが、これは夜月明りなどわずかな光があれば、目立つ色であるためです。

APPEAL 2 香りでアピール

夜咲く花は、香りが強い種類が多いのも特徴。目立たない分香りでしっかりと存在をアピールしているわけです。

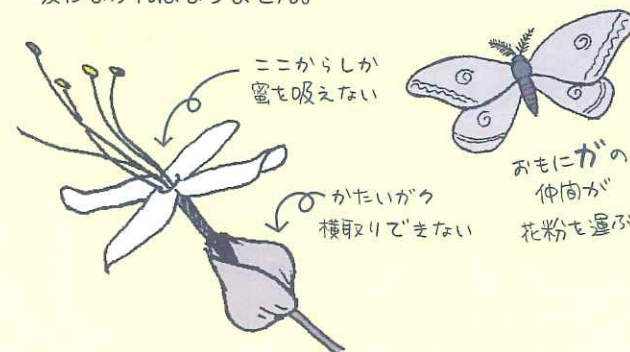
オオオニバスの作戦

浮力のある大きな葉で知られるアマゾン流域原産のオオオニバス。植物園のような施設でなければ見る機会はありませんが、じつはこの植物も夜咲き植物の代表格。花は2日に渡って咲きますが、そこには、驚くべき知恵がありました！1日目の花は、白く香りを放ち昆虫を呼び込みます。朝には花を閉じ昆虫たちを閉じ込めてしまいます。すると、雄しべから花粉が出て中の虫たちは花粉だらけに。そして2日目の夕方再び花が開くと虫たちは、違う花へと飛び立ちます。面白いことに2日目の花はピンクに変わる点。これは、もう蜜はないよという虫たちへのサイン。このようにオオオニバスは、違う株に受粉されるように工夫をして、遺伝的な多様性をたもっているわけです。



クサギの作戦

クサギは、比較的身近な場所で見られる植物です。花は昼も夜も咲いていますが、昼はチョウ夜になるとガが蜜を吸いにやってきます。花弁はガクから長く突き出しています。蜜のある部分はかたいガクにおおわれているため、昆虫たちは、必ず正面から蜜を吸わなければなりません。



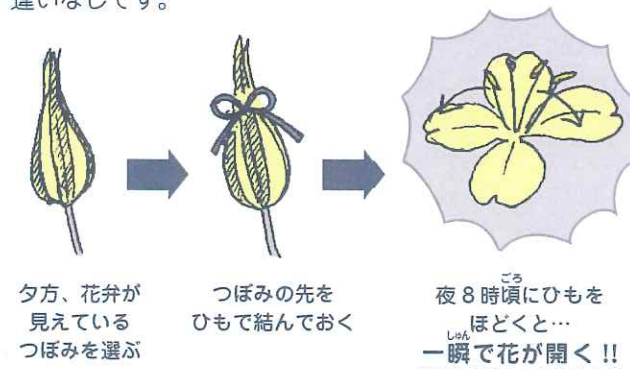
昆虫だけじゃない

ゲッカビジンは、中南米原産のサボテンの一種です。夜に白い大きな花を咲かせます。実はゲッカビジンのような夜咲きのサボテンの花粉の媒介者は、夜行性のほ乳類であるコウモリの場合もあります。甘い蜜にさそわれるのは、昆虫だけではないのですね。また丸くて大きなサボテンの花は、コウモリの発する超音波を反射して、花の存在をコウモリに知らせる役割もしていると考えられています。



やってみよう！ドラマティックな瞬間

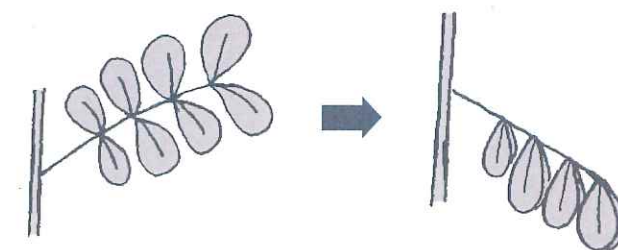
夜に花が開くようすはなかなか観察できないもの。もっとも目にする機会の多いメマツヨイグサを使って花が開く瞬間を観察してみましょう。感動すること間違いなしです。



番外

植物だって夜は葉を閉じて寝る!?

ネムノキなど、マメ科の植物は、夜になると葉を閉じます。眠ったようにも見えるこの現象を「就眠運動」といいます。なぜ葉を閉じるのかははっきりとした理由はまだわかっていません。ために1日中暗くしたところ、葉は変わらずに開いたり閉じたりしたという結果だったそうです。このことから、就眠運動は体内時計によるものだと考えられています。



横浜市こども植物園 2024 夏のイベント

エジソンのマダケで点灯実験

日時：7月27日(土)

①10:00~12:00

②13:30~15:30

対象：小・中学生(小学生は保護者同伴)

定員：各5組 費用：1000円/組

締切：7月10日(水)

宿題お助け隊 ～アイの生葉のたたき染め～

日時：8月3日(土)

①10:00~11:00 ②11:30~12:30

対象：小学生(保護者同伴)

定員：各10組 費用：500円/組

締切：7月17日(水)

食虫植物展

期間：8月2日(金)~20日(火)

内容：さまざまな仕組みで虫を捕える食虫植物を解説とともに展示

会場：池の前広場/展示室

横浜の植物・植物標本展

期間：9月1日(日)~9月29日(日)

内容：こども植物園が保存する植物標本の展示

場所：展示室

協力：横浜植物会

講座の 申込方法

【講座名】【開催日】【保護者氏名】

【お子様氏名・年齢】【ご住所】【電話番号】を明記の上、ハガキ、Fax、ホームページ、窓口のいずれかでお申し込みください。締切日必着。

応募多数の場合は抽選します。結果は当選者と補欠の方に開催日の10日前を目安に郵送にてお知らせします。

《お問い合わせ》横浜市こども植物園 TEL:045-741-1015
〒232-0066 横浜市南区六ツ川3-122
<https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/kodomo/>
FAX:045-742-7604

横浜みどりアップ計画

